

読み比べや防災学習

実践発表会で3校教諭が報告



新聞各紙の社説を読み比べた生徒の感想を紹介した兵庫教育大付属中教諭の発表＝神戸市中央区東川崎町1

教育に新聞を

NIE

「NIE(教育に新聞を)」

活動を進める県内の学校の実践発表会が6日、神戸市中央区の神戸新聞社報道展示室であった。県内の教員ら85人がオンラインなどで参加。日本新聞協会の実践指定を受けた3校の担当教諭が、新聞を用いた授業と意義を報告した。

発表会は、新聞社や教育関係者でつくる兵庫県NIE推進協議会が毎年開催している。

豊富小中学校(姫路市)

の川村かおり教諭と井上佳尚教諭は、平和や防災学習などの調べ学習への新聞活用法を紹介。新聞作りアプリ「ことまど」を使った新聞発行など、「日常的に新聞を使い作ることで、気付きを得ている」と述べた。

兵庫教育大付属中(加東市)の安永修教諭は、正しい情報をくみ取る力「メディアリテラシー」を複数の新聞を読み比べして身に付ける学習法を報告。新聞記者による講演会などから、「疑いを持ってニュースを読むことの大切さを学んだ」とした。

神港橋高(神戸市兵庫区)の高野剛彦教諭は、「GO TO トラベル事業を継続すべきか中断すべきか」など、道徳的に答えのない課題について意見交換する「モラルジレンマ学習」について話した。「多面的な情報に基づき対話を重ねることで、生徒たちの人間関係を向上できる」と力を込めた。(貝原加奈)